

感動をありがとう 清流国体・清流大会



岐阜県で47年ぶりに開催された第67回国民体育大会「ぎふ清流国体」と、第12回全国障害者スポーツ大会「ぎふ清流大会」は、県内全域の市町村が開催地となり、80万人が交流する国内最大のスポーツの祭典となりました。

（9月29日・総合開会式会場）
天皇、皇后両陛下をお迎えしての総合開会式では、県内各地の伝統芸能などで観客らを魅了し、記憶に残る総合開会式となりました。下呂市からは下呂温泉まつりの主役の龍神が登場し、勇壮な舞を披露しました。



開会式に先立って披露された龍神舞

下呂市開催競技
（10月5日から9日）
【ハンドボール成年女子】
全国から19チームが参加し、下呂交流会館の温アリーナで行われました。
岐阜県代表チームは、飛騨地域出身または在住の選手で構成されている「H.C.高山」のメンバーが中心となり出場。結果は残念ながら準々決勝で敗退となりましたが、岐阜県代表の試合ではたくさんのお客様が来場し、熱い声援を送っていました。

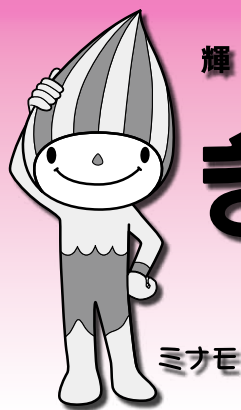


大歓声の中プレーする岐阜県代表選手



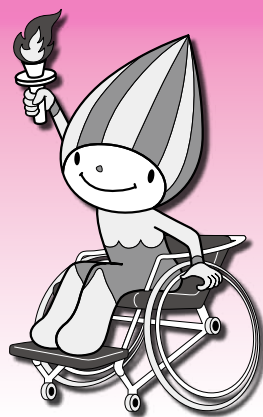
岐阜県代表選手のプレーを一目見ようと詰めかけた観客

【ソフトボール少年男子】
あさぎのスポーツ公園内の2つの会場で行われ、全国の13チームが対戦しました。
岐阜県代表チームは、美濃加茂高校と岐阜聖徳学園高校のソフトボール部員で構成。健闘むなしく1回戦で敗退となりましたが、会場に詰めかけた観客らは、ひたむきにプレーする選手の姿に惜しみない拍手を送っていました。



輝け はばたけ だれもが主役 2012

ぎふ清流国体 ぎふ清流大会



だれもが主役！

今回のぎふ清流国体・清流

大会のスローガンは「輝け

はばたけ だれもが主役」。

出場する選手はもちろん、歓

迎用花飾りをした団体や清掃

活動を実施した法人・個人、

大会運営にあたった高校生や

市民ボランティア、応援に駆

けつけた小中学生など、まさ

に「だれもが主役」となった

大会でした。ほんの一部です

が、市内の各会場で活躍した

「主役」を紹介します。



皆モンキーズの可愛らしいミナモダンスの披露

ソフトボール競技会 オープニング セレモニーにて

ソフトボール少年男子の競

技を翌日にひかえた10月5

日、下呂交流会館泉ホールで

参加選手らを歓迎するオープ

ニングセレモニーが行われま

した。開会前のアトラクショ

ンでは、チーム結成以来ぎふ

清流国体のPR活動をダンス

を通じて頑張ってくれた「皆

モンキーズ」のミナモダンス

が披露され、会場からは手拍

子が沸き起こっていました。

◎司会進行係・熊崎美奈さん

(益田清風高校3年)



司会者の大役を果たした熊崎さん

◎ピアノ演奏・中川みちるさん

(益田清風高校2年)



国歌や国体の歌の素晴らしい演奏を披露した中川さん

「オープニングセレモニーを無事に終えることができ、ほっとしています。私が声優を目指していることを知っていた先生が、こんな良い機会を与えてくれました。長文の原稿を読み上げるのが、とてもたいへんでした。国体が地元で開催されるということ、は、とてもうれしいことです。」

「ちょっと演奏を間違えてしまったので、すぐくやしいです。自分の人生にとって良い経験となり、皆さんの前で演奏することができて、すごく楽しかったです。今回の出演については、音楽の先生からお話をいただき二つ返事で受けました。岐阜県で47年ぶりに開催される国体に立ち会うことができたことは、本当にうれしいです。」



セレモニーを無事終え満面の笑みで記念撮影(左:熊崎さん・右:中川さん)